

もみじ

—広島山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山教室 (12/17~18 大山) 報告
2. 県高体連登山部安全登山講習会/研修会 (12/9~10 県立体育館、広島学院) 報告
3. 全国高校選抜 S C 選手権 (12/24~25 埼玉県加須市) 報告
4. 岳連短信 (寄贈御礼、1~2 月の行事予定)

1. 登山教室報告

(指導部長 森本 覚)

第 9 回 12/17(土)~18(日)

登山形態: 小屋泊

山城: 大山

人数: 9 名 (スタッフ含)

初日は思ったほど天候が悪くなく八合目でアイゼン、ピッケルの説明をし山頂まで歩きました。山頂到着後そのまま八合目までアイゼン、ピッケルで下りました。

2 日目は天候の悪化が予想されていた為早めの下山としました。(指導部 久保田 征治)

【感想文】

『登山教室 12 月雪山大山』

(登山教室 2 年 松井 邦幸)

今回は大山で雪山訓練の計画でした。

登山教室の日程に寒波到来が重なり、山にはたっぷりの雪が積もって、まさにうってつけの雪山訓練日となりました。

とは言え、天候の悪化が甚だしく、翌日も回復する見込みが無かったため、スタッフの判断により、当初計画の山頂避難小屋での宿泊を取りやめ、弥山到着後そのまま引き返して元谷方面へ下り、元谷避難小屋に

宿泊する計画に変更されました。

私は、11 月の登山教室では T シャツ 1 枚で山行していたので、この急激な山容の変わり様に、心なしか気持ちがいまいち追いつかず、戸惑いの様なものを感じていました。

1 日目は夏山登山口から登山を開始し、8 合目でアイゼン・ピッケルを装着し頂上を目指しました。

その途中、バランスを崩し後ろの人をアイゼンで踏みつけそうになりました。何事もなかったのですが、アイゼン、ピッケルを使用する時は、他者との間隔をとる様注意が必要だと反省しました。これが今回最大のヒヤリハットでした。

頂上付近ではブリザードが始まっており、頂上避難小屋までの距離が長く感じられました。雪山の恐さを感じながら歩き続け、避難小屋が見えた時には正直ホッとしました。

弥山で記念撮影を済ませて下山開始し、8 合目まで降ると風も和らいで一息つくことが出来ました。ここでアイゼン、ピッケルを取り外し行者谷登山道を元谷避難小屋を目指して歩きます。下山中、22 kg のザックの重みと腰痛に苦戦し、何度も足を滑らせて転び、元谷避難小屋に到着するころにはクタクタになってしまいました。

また、暴風雪の中では避難小屋の有り難さが良くわかります。

翌日は、一時的に風雪が止んだので、アイゼン、ピッケルを使った登坂と降坂の講習をしていただきました。

講習終了後は、大雪による交通渋滞や通行止めを避

けるため、駐車場まで戻ると荷物を車に詰め込んでそのまま早めに帰路につきました。

因みに、その日の晩は高速道路も通行止め箇所があった様です。

今回の教室でも多くの失敗や学びがありました。これらの教訓を残り少ない登山教室でも活かして行きたいと思います。

スタッフ及び受講生の皆様、ありがとうございました。

(写真提供 久保田)



2. 県高体連登山部安全登山講習会/研修会報告

(県高体連登山部事務局長 内藤 弘泰)

12 月 9～10 日に県立体育館と広島学院で開催された標記講習会/研修会の参加者感想文と写真です。

『安全登山講習会を終えて』

(基町高校 廣目 蒼)

この度の安全登山講習会では、登山における危険性とその対処、準備物について知ることができました。

1 日目の講習では、広島県山岳・スポーツクライミング連盟指導部の方をお招きし、雪山登山のリスクを再確認するとともに、教員間で、部活動中の「ヒヤリ・ハット」した経験について共有し、同様の事態の再発を防ぐ手立てを考えました。特に生徒の安全面をどう確保するか、登山行動中のリスクや登山装備の高額な初期投資について、どのように保護者の理解を得るかといった点を議論しました。

2 日目の講習では、広島県山岳・スポーツクライミング連盟より、森本覚先生・小家石美雪先生をお招きし、登山行動中の怪我のリスクについて、実際の応急処置の仕方含めご紹介いただきました。捻挫や骨折の処置などで「当たり前」と思ってとった行動が、怪我人に思いもよらない危険を及ぼす可能性があることを再認識する良い機会となりました。その他、救助活動用の即席担架を手元にある道具だけでどのように作るか考えたり、完成した担架で実際に怪我人を運んでみるといったワークを行ったりして、実践を通じて知識理解を深めることができました。

私自身、冬山での登山経験がないことに加え、応急手当の知識も少し怪しい点がありますが、今回の講習で学ばせていただいた内容を持ち帰って生徒に共有するとともに、聞いた内容を自分で何度も反復して、講習会の内容が単発のものとならないようにしていきたいと思います。

最後になりましたが、この度の講習会でご講演、ご指導いただいた先生方には、大変お世話になりました。ありがとうございました。



男子 (エントリー人数 99・出場人数 94)

大下 賢実 (海田高校 2 年) 決勝進出・16 位

香川 葉津 (海田高校 1 年) 34 位

末廣 佳大 (修道高校 2 年) 58 位

女子 (エントリー人数 91・出場人数 88)

西原 ひなた (広島国泰寺高校 2 年) 決勝進出・22 位

佐々木 詩華 (高陽東高校 1 年) 37 位

また、海田高校は選手 2 名の総合成績で競われる**学校別対抗**で男子 3 位に入賞しました。



4. 岳連短信

1. 寄贈御礼

12/20 三原山の会『筆影』No. 514 (1 月号)

12/23 福山山岳会『会報』1 月号

広島山岳会『山嶺』第 889 号 (12 月)

広島やまびこ会『やまびこ』795

長野県山岳協会ニュース「やまなみ」No. 247

とがくれん通信 2022 年 4 号

2. 1~2 月の行事予定

2/4~5 県高体連登山部大会 (もみのき森林公園)

2/25~26 冬山技術研修会 (ひろしま県民の森)



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。

3. 全国高校選抜 S C 選手権報告

(県高体連事務局 内藤 弘泰)

12 月 24~25 日に埼玉県加須市民体育館で開催された第 13 回全国高等学校選抜スポーツライミング選手権大会の広島県出場選手とその成績です。